



ニュース2020年

2020.11.02

都中体連野球 秋季大会は修徳中が18年ぶり7回目の優勝

読売巨人軍が後援する第73回東京都中学校野球秋季大会（東京都中学校体育連盟主催）の準決勝と決勝が1日、埼玉県八潮市の修徳高等学校野球場で行われ、修徳中（葛飾区）が上一色中（江戸川区）を下して18年ぶり7回目の優勝を果たしました。今年、コロナ禍により各大会が中止となり秋季大会の開催も危ぶまれていましたが、大会関係者の皆様のご尽力のお陰で無事に決勝戦を迎えられました。決勝戦の熱戦の様子は、初回上一色中の攻撃、先頭・福島がレフト前ヒットで出塁し、2番・酒井のピッチャーゴロの間にランナーが2塁へ進み、3番・岡田のセカンドゴロの間にランナーが3塁へ、続く4番・渡辺がレフト前ヒットを打ち先制点を取ったが、先発投手・古宇田（修徳中）が後続を打ち取り最少失点で乗り切った。その裏、修徳中の攻撃、先頭・山根がセンターオーバーの2塁打を打ち、2番・阿部が送りバントでランナーを3塁に進め、続く3番・古宇田がスクイズを決めすぐに同点に追いついたが、先発投手・福島（上一色中）が後続を打ち取りこちらも最少失点で乗り切った。その後は投手戦となり、迎えた7回裏修徳中の攻撃、5番・関口が三振で1 OUT、6番・前山がサードエラーで出塁し、次打者の時に盗塁を決め1 OUTランナー2塁から7番・杉山がライト前ヒットを打ち、2塁走者の前山がサヨナラホームインし修徳中が優勝しました。

修徳中・山根主将のコメント「23人全員で戦って優勝できたことが素直に嬉しいです。」と語ってくれました。優勝した瞬間、修徳中の選手や保護者の方々が感極まって涙している姿を見て感動しました。残念ながら準優勝となった上一色中の選手は、この悔しさを糧に努力し来年リベンジできるよう頑張ってください。

▽決勝

上一色中（江戸川区） 1 0 0 0 0 0 =1

修徳中（葛飾区） 1 0 0 0 0 1 ×=2

〔上〕 福島 - 高橋

〔修〕 古宇田 - 前山